

# さんぐりあ

名古屋NGOセンターの主な活動

- 1 地域及び全国的NGOのネットワーク作り
- 2 NGOスタッフやボランティアのためのセミナー実施
- 3 一般市民へのNGO情報の発信
- 4 地球市民教育のためのセミナー、フォーラム等の実施
- 5 自治体、及び関係機関への提言・協力活動

さんぐりあとは、赤ワインにいろいろな果実を漬け込んでつくる飲み物です。

これを世界にたとえ、さまざまな果実（人々）の個性を損なわず、素晴らしいハーモニーが奏でられるようにと願いを込めて、名付けられました。



昨年度開催の国際協力カレッジ  
NGO相談員が個別に相談に応じています

特集

## 地域NGOを支え、世界とつなぐ

JICA中部と名古屋NGOセンターとの協働により毎年年末に行われる大きなイベントが「国際協力カレッジ」です。国際的な課題に関心を持つ方々が国際協力の現場の声に触れ、考え、動き始める「学び」と「きっかけ」の場となる一日を過ごします。今回で20回目の開催となりました。国際協力への理解・促進のため、外務省の委嘱による「NGO相談員」が、市民やNGO関係者からの質問・照会に答える場も設けています。参加者は中学生からシニアと幅広い世代です。

NGO JICA JICA海外協力隊 SDGs

**国際協力カレッジ2025**

国際協力を学び、行動するきっかけをつかもう!



**2025.12.13(土)**  
13:00~17:00(受付は30分前)

**学び** 1時間目 13:10-14:20  
「国際協力のシゴト」を知ろう!  
JICAやNGOなど、国際協力が何で活躍する人々の仕事を知ろう!

**行動** 2-3時間目 14:30-16:25  
多様なNGOの活動紹介を聞きながら  
国際協力がワンディメンション  
マッチング!

**会場** JICA中部 なごや地球ひろば  
定員 70名(先着順)

**対象** 国際協力分野、多文化共生分野に関心がある人  
◎部分参加ではなく半日出席してご参加ください。

**参加費** 無料  
イベントへの応募コード  
<https://nngo.jp/2025/08/06/10nngo2025-20251213/>

主催 独立行政法人国際協力機構 中部センター(JICA中部) ● 事務局 特別非営利法人名古屋NGOセンター

# 地域NGOを支え、世界とつなぐ ～ネットワークNGOとしての名古屋NGOセンターの役割～

名古屋NGOセンターは地域のNGOどうしを結びつけるネットワークNGOとしての役割もあります。今号では「全国ネットワークNGOの集い」と「NGO相談員会議」の2つの会議を紹介して、その役割を考えます。

## 全国ネットワークNGOの集い

「全国ネットワークNGOの集い」は年1回webで開催。情報共有や提言などを行う貴重な場です。2025年は12月11日に開催されました。

まずは横浜NGOネットワークから、30年近く続いたイベント「よこはま国際フェスタ」についての報告がありました。市国際交流協会やJICAなどの負担金により700万円規模の事業でしたが、類似イベントがあることや、例年使っていた会場が工事で使えなくなったことから2024年度で中止になった

ということ。貴重な収入源がなくなって、財政的に苦慮しており、行政と連携して市民向けの大型イベントを開催しているネットワークNGOは多いので参考になったと思います。

また、国際協力NGOセンターから、全国の地域別ネットワークNGOと連携を進めたいと提案がありました。現在、寄付税制の拡充や、休眠預金の対象を国際協力分野にも広げるべく、東京(国会議員会館など)で政治家にロビイング活動を進めています。その議員の出身選挙区でも地域別ネットワークNGOにロビイングを行ってほしいということです。また南海トラフ地震などで東京のオフィスが壊滅的被害を受けた場合、被害が少ない地域のネットワークNGOに一時的に事務局機能を代替移転することも検討しているそうです。

また、国際協力NGOセンターから、全国の地域別ネットワークNGOと連携を進めたいと提案がありました。現在、寄付税制の拡充や、休眠預金の対象を国際協力分野にも広げるべく、東京(国会議員会館など)で政治家にロビイング活動を進めています。その議員の出身選挙区でも地域別ネットワークNGOにロビイングを行ってほしいということです。また南海トラフ地震などで東京のオフィスが壊滅的被害を受けた場合、被害が少ない地域のネットワークNGOに一時的に事務局機能を代替移転することも検討しているそうです。



## JICAアフリカ・ホームタウン構想の影響について

2025年8月の第9回アフリカ開発会議(TICAD9)において、JICAがアフリカ各国の問題解決と日本の地方自治体の活性化に貢献することを目的とした「JICAアフリカ・ホームタウン構想」を公表しました。これは愛媛県今治市とモザンビーク、千葉県木更津市とナイジェリア、新潟県三条市とガーナ、山形県長井市とタンザニアの交流を促進しようとするものでしたが、移民の受け入れ促進や特別な査証の発給をすると誤解されて、日本国内から大きな反発があり、その市やJICAに苦情や抗議が相次いだことから、9月に撤回に追い込まれました。

この「集い」でも、ホームタウンの1つを活動エリアに含むネットワークNGOから、ホームタウン構想が立ち上がる前から続いていた交流もなくなってしまったこと、クレームはその市内からではなく県外の方からが多かったこと、そのネットワークNGOにも直接苦情が入ったなどと報告がありました。

この現象は、日本国内の中に外国人への嫌悪感や国際協力への否定的な感情が広がっていることが背景にあると思われます。そのため、「全国ネットワークNGOの集い」において、全国のNGO向けに「NGO同士の連携を強化して、市民への働きかけを強化すること」「その一つとして国際教育をいっそう推進すること」「JICA地域センターと積極的な意見交換を行い協働の可能性を探ること」などが呼びかけられました(この呼びかけ文は名古屋NGOセンターのホームページにも掲載しています)。この呼びかけに対し、全国の27のNGOが賛同しました。また、JICA職員、外務省の担当官からも謝意が表明されています。

### 「全国ネットワークNGOの集い」構成団体

北海道NGOネットワーク協議会  
 東北NGOリーグ  
 にいがたNGOネットワーク  
 埼玉NGOネットワーク  
 横浜NGOネットワーク  
 国際協力NGOセンター  
 名古屋NGOセンター  
 関西NGO協議会  
 広島NGOネットワーク  
 四国グローバルネットワーク  
 NGO福岡ネットワーク  
 沖縄NGOセンター



### NGO相談員とは

国際協力分野で経験と実績をもつ日本のNGO団体が外務省の委嘱により「NGO相談員」となり、NGOの国際協力活動、NGOの設立、組織の管理・運営など、市民やNGO関係者からの質問・照会に答えています。また、国際協力への理解の促進のため、地方自治体や教育機関などと協力し、国際協力関係のイベント等において相談業務や講演を行う「出張サービス」も実施しています。(外務省ホームページから)

名古屋NGOセンターは1999年度から27年連続で委嘱を受けて活動しています。2025年度(4~10月)は479件の相談がありました。他セクターを含む一般の方からの相談が約半数、NGOからの相談が約半数になります。出張サービスは2件で今後3件を予定しています(その後金沢学院大学などで実施しました)。また、学校関係(小学校、中学、高校)からの相談が増えており、中部地域のNGOとつながって何かをしたいとの相談があり、教育機関とNGOとのマッチングなどを行っています。

NGOからの相談の多くはマネジメント(組織運営、ファンドレイジング、助成金申請、会計、労務、人材育成、広報)などが主な内容でした。数回にわたり、申請書・予算

書作成のノウハウについてお伝えし、コンサルテーションを複数行ったり、社会保険、労務関係についての相談には、該当する情報や法令、利用できる制度についてお伝えするなどして、労務の専門家がないNGOにおいても、法令を遵守したNGO運営ができるようサポートしました。

### NGO相談員連絡会議

全国の相談員と外務省との情報共有や意見交換の場として、NGO相談員連絡会議が年2回開催されています。2025年は15年ぶりに11月13日~14日に名古屋で開催され、ホストは名古屋NGOセンターが務めました。

初日は、名古屋地域の事例として、JICA中部と地域のNGOによる国際協力の協働事例、次世代のNGOスタッフ育成プログラム(Nたま)、伊勢志摩サミットよりつながる東海3県のNGOによる東海市民社会ネットワークの発表がありました。特にNたまは人材育成の成功事例としてNGO側から多くの質問がありました。

2日目は、多文化共生の問い合わせを多く受けたり、Webによる相談対応を進めるなど、各団体の特徴を生かした事例報告がありました。また外務省へは細かい様式の効率化、実態に合わせた交通費の計上などの提案がありました。

(担当:丹羽)

### NGO相談員リスト(2025年度)

北海道	北海道国際交流センター
東北	IVY
関東	難民を助ける会 国際協力NGOセンター
中部・北陸	名古屋NGOセンター
近畿	関西NGO協議会
中国	AMDA社会開発機構
四国	四国グローバルネットワーク
九州	NGO福岡ネットワーク
沖縄	沖縄NGOセンター



NGO相談員連絡会議

# 加盟団体から見る名古屋NGOセンター

名古屋NGOセンターは、地域で活動するNPOやNGO団体の中間支援を担う役割もあります。現在センターに加盟している団体は34あり、活動の広域展開のために連携・協力関係にあります。ここでは実際に、加盟団体から見るネットワークがどのように有効なのか声を拾ってみます。

AHI(アジア保健研修所)、アジア各国のNGOリーダーたちの活動をサポートする団体で運営をする職員に、下記の質問にお答えいただきました。

## ①ネットワークのメリット(加盟して役立ったことは何か)

他団体(加盟団体間、および、他地域の団体とも)とのつながりができ、その経験や事例から学べることです。例えば、運営や活動に関する類似したとりくみについて、情報をいただき、職員向けの研修では、他団体の状況や改善に取り組む事例を知り、自団体を客観視できるなどがあります。

他に、大切にしていることで自団体だけでは難しい学びの機会や、情報が得られます。例えば、インターンやボランティアの募集、職員への研修があります。また、政策提言や賛同署名では、活動分野をこえて様々な団体とともに市民社会組織としての姿勢を示し、連帯する場や経験をもてるとともに、行政や企業との協働について考える場にもなっています。これは、AHIの研修に参加しているアジアのNGOワーカーたちが抱える課題とも共通していて、ともに議論し、学び合っていきたいことのひとつです。特に、行政との協働については、NGOセンター内での議論や、JICA中部とのやりとりなどある意味とても生々しい事例を垣間見せていただき、立場の異なる市民社会組織同士の連携をどう作っていくのか、など考えさせられています。

## ②期待する機能は何か(こういうネットワークを希望)

まずは①で書いたような機会の継続です。NGOに就職したい人と団体とのマッチング(表紙写真イベント)は、大切な機会です。それから、国際的な場で進められている革新的な開発に関する議論や取り組み、考え方などを、わかりやすい言葉で共有する場であってほしいです。さらに、組織強化・運営に関するサポートも欠かせません。例えば、スタッフ誰もが安心・安全に働ける環境づくりへの支援が上げられます。限られた資源で、またNGOとしての理想と現実の中で、どんな選択や方策をすることがあるべきなのか、また、どうそれを実現させていくか…日々悩んでいます。

ありがとうございました。

この機会に関わらず、引き続きご意見お寄せください。皆さまと共有いたします。

### <加盟団体一覧>34の加盟団体が世界で活躍しております

- ・特定非営利活動法人 ル・スリール・ジャポン(特例認定NPO)
- ・オーリーブジャパン国際開発協力協会
- ・特定非営利活動法人 キャンヘルプタイランド
- ・特定非営利活動法人 イカオ・アコ
- ・特定非営利活動法人 地域国際活動研究センター(CDIC)
- ・特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援・中部
- ・南遊の会
- ・特定非営利活動法人 DIFAR
- ・フィリピン人移住者センター(FMC)
- ・公益社団法人 アムネスティ・インターナショナル日本 “なごや栄・わや”グループ
- ・不戦へのネットワーク
- ・認定NPO法人 平和のための戦争メモリアルセンター
- ・公益財団法人 名古屋YWCA
- ・公益財団法人 アジア保健研修所(AHI)
- ・認定NPO法人 インド福祉村協会
- ・ベシャワール会名古屋
- ・日本バン格拉デシュ友好協力会(J.B.C.S.)
- ・認定NPO法人 アイキャン
- ・認定NPO法人 ムラのミライ
- ・Hungerzero(一般財団法人 日本国際飢餓対策機構)
- ・認定NPO法人 ホープ・インターナショナル開発機構
- ・ハート・フォー・ザ・ワールド・ジャパン
- ・なごや自由学校
- ・特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
- ・認定NPO法人 アーユス仏教国際協力ネットワーク
- ・特定非営利活動法人 ボラみみより情報局
- ・特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター東海
- ・特定非営利活動法人 外国人ヘルプライン東海
- ・公益財団法人 オイスカ中部日本研修センター
- ・特定非営利活動法人 タランガ フレンドシップ グループ
- ・特定非営利活動法人 泉京・垂井
- ・ビニンブラザーホッド トーカイジャパン
- ・認定NPO法人 まちづくりスポット
- ・認定NPO法人 アジア車いす交流センター(WAFCA)

# 1989年

、弁護士登録し、時代の要請でもあった外国人の法的支援を続けて来た私にとって、「サンテリア」という言葉と初めて出会ったのは、名古屋NGOセンターの初代理事長であったレナト神父の依頼を受けて、何年か参加した在留外国人の楽しい集まりの名称としてでした。私は、同じ言葉を話す仲間たちが国際センター大ホールに集い、美味しい故郷の味を口にし、楽しんでいるホール脇の空間で法律相談を担当する弁護士でした。

楽しい集いの一方、当時、そして、東チモールに活動の場を移されるまで、レナト神父から依頼され、数多くの苦しい法律事件も応援してきました。

中でも、決して忘れることが出来ないのは、幼い子ども二人を親に預けて出稼ぎに来ていた若夫婦の一方、母親の死亡事故です。父親が、友人の手伝いの下、貰った冷蔵庫を道路沿いで運んでいた時、母親が、轟音で走って来たオートバイに驚き、跳ねられて死亡した事案です。母親の遺骨を持って帰国する父

エッセイ  
**NGOの散歩道**  
第43回

## 日本で頑張る 在留外国人応援団

が、子どもたちに何と説明するのか、何度思い出しても涙が出ます。又、交通事故で意識不明のまま回復しない男性の事案では、頭部に電気ショックを与え続けている治療にも立ち会い、その後、航空機の一部を貸切る巨額の帰国費用を保険負担とする交渉を担当し、その後も、深刻な事案は後を絶ちませんでした。

現在、我が国では、世界の潮流を後追いするような排外主義的な政治勢力が一定国民の支持を受け、国際関係の悪化を背景に大勝した政権党は、秩序ある外国人政策をと訴えています。しかし、真面目に必死で働く普通の在留外国人は、言葉の壁、法律の壁、習慣の壁等、きちんとした教育、支援も受けられず、職場で、日常生活で、日々危険に晒され、命さえ失っているのが現実です。

今、求められているのは、秩序の押し付けではなく、人間らしい支援です。それを支援するボランティアと、そのボランティアの活動を結ぶ、名古屋NGOセンターの役割は、益々大きいと確信します。

名古屋難民支援室・共同代表 **なじま あきお**  
**名嶋 聡郎**

さんぐりあ編集委員がおすすめるモノ・ヒト・メディア情報

# NANGOC RECOMMENDS

なんごく

りこめんず

vol.81

このコーナーでは皆様からの「りこめんず」を募集しています。NGOに関するあらゆる「おすすめ」の情報をおよせください。e-mail:info@nangoc.org



### 『マダム・イン・ニューヨーク』

伊藤玲奈の  
オススメ

この作品はごく普通のインド人主婦シャシが、ニューヨーク滞在をきっかけに、英語を学ぶことで人生を取り戻していく姿を描く。

片言で道を尋ねたり、言い間違いを笑われたり、注文に時間がかかって店員に睨まれたり…シャシの成長過程はどれもリアルだ。言葉の壁に直面したことがある人は、思わず顔をしかめたくなる記憶が蘇るだろう。でも挑戦することは時にそれ以上のギフト、同じ志を持つ仲間の励みや、小さく積み上げた努力が自分に手を差し伸べる瞬間があって、人は何とか前に進むことができる。

「何事も”初めて”は1度だけ。だから楽しんで」劇中に出てくる台詞に、はっとさせられた。

妻であり母である自分の立場への葛藤、言葉の壁、新しい環境に飛び込む勇気。自分の世界を広げてくれる英語を夢中で楽しみながら、壁を越えていくシャシの姿に、気づけば「本当になりたい自分」を重ね合わせて見ていた。あと1歩の勇気を必要としている人に、この映画を贈りたい。



(2012年 インド映画 ガウリ・シンデー監督)



### からだ想いでご縁を大切にするお店「enCafe」

内藤壽久の  
オススメ

久屋大通駅から徒歩すぐ、窓からミライタワー(テレビ塔)を望む好立地にある「enCafe」は、発酵食とオーガニック素材にこだわった身体にやさしいメニューが魅力のカフェです。店名には「ご縁」や「円」といった人とのつながりへの想いが込められ、店内は木の温もりにも包まれた落ち着いた雰囲気。都会の中心にありながら、ゆったりと心がほぐれるような時間を過ごせます。朝9時から営業しており、手作りモーニングや素材の味を活かしたランチプレートが人気です。

私が食べたみりんや醤油を使った自家製タレで仕上げるローストビーフプレートは深い旨味がありながら重くなく、発酵調味料ならではのやさしい味わいが楽しめます。ドリンクもオーガニックにこだわり、静岡産の抹茶など健康志向の方に嬉しいラインナップが揃っています。

さらに、無添加の味噌玉など持ち帰りできる発酵食品も販売され、日常に取り入れやすいのも嬉しいポイントです。栄エリアでは貴重なキッズスペースやオムツ交換台を備えており、子ども連れでも気兼ねなく利用できる点も大きな魅力。

健康的でおいしい食事と心地よい空間を楽しみたい方にぴったりのカフェです。近くを訪れた際はぜひ立ち寄りみてください。

お店情報：〒461-0005  
愛知県東区東桜1丁目10 34theBLDG  
1034 2F  
TEL:052-265-7555  
営業時間：9:00~18:00(年中無休)



写真説明：オーナーの眞野さつきさん(右端)とスタッフの皆様のお出迎え

# Nたまのいま

No.53



しおたまさや  
Nたま19期生 塩田真也さん

名古屋NGOセンターが主催する、将来のNGOスタッフを育成する“次世代のNGOを育てるコミュニティカレッジ”（通称Nたま）。2002～2025年度までの22回で（2004、2020年度はお休み）、研修を受けた方は305名。

約半年間の研修を終えた卒業生たちは、今ここで、どんな活動をしているのでしょうか？

第53回はNたま第19期生の塩田真也さんにお話を伺いました。塩田さんはNたま修了後京都の認定NPO法人アクセスで3年間活動され、この4月からは認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構にて、ご自身の夢に向かって新たな一歩を踏み出されました。

## 社会の格差を少しでも減らすことができれば

### ■本当にやりたいことを求めて

大学卒業後メーカーに8年ほど勤務して、海外勤務も経験し、その中で国際協力への興味が高まっていました。このまま会社員を続けていいのかと悩んでいる時、JICA海外協力隊で同期だった友人から、夢を追いかけていいんじゃないかと励まされ、Nたまを紹介されました。そのまま参加を決めた理由は、NGOで社会貢献の仕事をするだけのスキルが自分にあるのか確かめるためです。

それなりにキャリアを積んでもいたのですが、国際協力、社会貢献の仕事でどんなスキルが求められるのかわからなかったため、本当に自分でできるのかわ不安でした。そういうこともあって、Nたまを受講して、業界の雰囲気を知り、業界のことを体験してみようと思ったんです。

座学で、社会課題について自分はという取り組み方がしたいかといった形でしっかり考える時間を与えられ、自分と向き合うことになって、受講中に退職を決めました。会社員としての働き方自体には不満はないけれど、NGOでの活動の方が悔いのない生き方につながるんじゃないかなと。

### ■Nたまで学んだことを活かす

実際に国際協力の現場で何年か過ごした今でも、自主企画こそがNたまのキモだと思います。チームを組んで、いろんな意見をすり合わせ、社会の要請に向けて取り組む。その取り組み方が、すごくリアルですね。Nたまで実際に自主企画がなかなかうまくいかない、なんか走りきれていないなということが仮にあったとしても、いい結果を目指して本気でチームで取り組むこと

に意義がある。成功したらそのノウハウが手に入り、失敗しても対策案が手に入る。本当に良い取り組みだと思います。

多様な方と関わる機会もNたまで得られた貴重な経験でした。会社員をやっていると、「サラリーマン」とばかり仕事をしている事が多いのですが、NGOでは職員だけではなく、支援者さん、ボランティアさん、支援を受けている人など、いろいろな立場の方と一緒に活動します。Nたまの参加者は学生が多いけれど、会社を卒業した人もいれば、僕みたいに仕事をしながら受講する人も、主婦の方もいる。いろいろな立場の人たちと企画をすすめていくという経験はまさに今やっていることにつながっているのだと、実際に働いてみてさらに感じています。

### ■NGOに転職して3年、そしてこれからのこと

Nたま受講中にインターンも経験して、ある程度この業界で馴染めるだろう、自分のスキルを欲しがってくれる団体もあるだろうという手応えを得て、途上国支援をしているNGOに就職を決めました。会社員のころは理詰めで仕事をして、そこでの成果が評価されていたのだけれど、NGOでは、感情の動きとか、人がどう受け取るか、自分たちの活動の意味は？ということに大事にする。これは仕事の進め方や意思決定の仕方の違いなどに表れていて、この3年間、そのギャップにもがき苦しんできました。

一方で、テクニカルな部分では会社勤務での経験が役に立っています。データを分析して、そのデータをもとに実践して、うまく回るようになった業務があります。これまで感覚や経験に頼っていた事業運営の中身が可視化され、改善につ

ながりました。想いやこだわりと合理性のバランスを取っていく作業は本当に大変ですが、最近になって手ごたえを感じる事が増えてきました。富士山で言えば今は2合目ぐらいかな。入ったころはどこに富士山（課題の本質）があるのかも分からなかったため、3年たってようやく足元を確認しながら登り始めたところですかね。

3年間仕事をしてきて、社会格差、チャンスの不平等などをどうしたらなくせるのかということに思いを馳せるようになりました。団体の活動では、家族支援と就学支援を組み合わせることによる効果を実感しました。その経験を活かし、将来的にはすべての人が何度でもチャンスを得られ、平等な機会を保障された社会を目指し、少しでも社会格差を縮められるような活動を切り開いていきたい。具体的には、子どもの虐待防止と権利保護、それから教育の機会均等。そういった活動をどんどん広げて行きたいと思っています。



フィリピンでの活動写真

(担当:貝谷)

# センターの動き

## 人材・活動育成 Nたま22期生8名が修了 — 新しい“NGOのたまご”の旅立ち

2月7日に人権啓発センター「ソレイユプラザ」にて、NGOスタッフになりたい人のためのコミュニティ・カレッジ(Nたま)の修了式が行われました。Nたま22期生8名が、約半年間にわたる講座を無事に修了し、それぞれ次の一歩を歩み始めました。

入学式の際に立てた個人の目標や、半年後の理想の自分像と現在の自分とのギャップ、自主企画での成功や失敗などを振り返りながら、修了式ではそれぞれが等身大の言葉で学びや今後の進路について語りました。

私自身、今回が初めて事務局として担当するNたまでした。半年間、受講生と向き合いながら、どのようなサポートが学びを深めるのか試行錯誤の連続でした。同時に、Nたまというコミュニティのつながりの強さを改めて感じる機会ともなりました。

長年続いてきたNたまのネットワークや、修了生、そしてさまざまな形で支えてくださったボランティアのみなさんに心から感謝しています。22期生のみなさんが、Nたまでの学びをNGOや市民活動、そして日常の中で生かし、小さくても一歩を踏み出してくれることを願っています。  
(報告:岩野)



## 人材・活動育成 東海地域NGO活動助成金をリニューアルし、今年度の採択団体が決定しました

東海地域NGO活動助成金は、過去の活用団体へのアンケート(2025年7月実施)で寄せられた声を踏まえ、真如苑と協議を重ねて、募集内容をリニューアルしました。

主な変更点として、申請団体の「設立後3年以内」という条件を撤廃し、設立間もない団体も応募できるようになりました。また、助成金額は上限30万円×約4団体、総額120万円(これまでは上限20万円×約5団体、総額100万円)へと拡充され、より実質的な支援が可能となりました。さらに助成区分を「事業助成」と「組織基盤強化助成」に分け、後者では伴走支援者の配置を必須とするなど、支援内容の質も高めています。領収書提出についても、3万円以上のみコピー提出と

するなど、手続きの負担軽減を図りました。

制度を刷新して迎えた今年度の募集では12団体から申請があり、一次選考では事業助成6団体、組織基盤強化助成2団体の計8団体が通過しました。3月に実施した最終選考会の結果、事業助成4団体、組織基盤強化助成1団体の計5団体が採択されました。採択団体はWEBサイトに掲載しています。

新しい制度のもと、地域の市民活動をより力強く支える仕組みとして運営を進めてまいります。今後も、現場の声を丁寧に受け止めながら、より使いやすく、地域に寄り添う助成制度となるよう改善を重ねていきます。(報告:村山)

## 活動報告カレンダー 2025年8月1日～2026年2月28日

### ●ネットワークング

- ・シーテック クリック募金2025(6～1月)2万クリック達成
- ・全国ネットワークNGOの集い(12/11)世話人&参加

### ●コンサルティング

- ・NGO相談(外務省NGO相談員):8～2月 462件、第2回全国連絡会議@名古屋(出席&ホスト団体、11/13,14)、出張相談:日本人のポリビア移住125周年記念(8/16、三重県)、地域のNGO同士の事業連携の促進について(9/5、岐阜県)、「ぼらマッチ!なごや2025」(11/29)、国際協力カレッジ2025(12/13)、国際協力について知る・学ぶ入門講座(12/18、石川県)

### ●情報収集・発信

- ・会報『さんぐりあ』11月号発行(1,000部)・発送(10/22)
- ・情報発信

ホームページ	センターからのお知らせ更新回数	16回
	中部NGO情報ひろば更新回数	56回
facebook	フォロアー数	1,464人
Instagram	フォロアー数	480人
メルマガ	登録数	236人

### ●政策提言

- ・NGO・JICA協議会 参加(9/17)
- ・NGO・外務省定期協議会 ODA政策協議会 参加(12/5)
- ・公的機関と市民社会のよりよい協働をめざして(9/20)
- ・西サハラ全国キャラバン2025 in 名古屋(11/12)
- ・多文化共生パートナー育成講座(11/22,12/6,12/20)
- ・中部NGO-JICA中部 第20回地域協議会(2/25)

### ●人材・活動育成

- ・あなたの挑戦をサポートするNGO研修2025 講座(9/18,25,10/9,15,30,11/19,12/6,18,1/8,17,2/5,18)、伴走支援(11月～地球の木、トゥマンハティふくおか、ハンガー・フリー・ワールド)
- ・NGOスタッフになりたい人のためのコミュニティ・カレッジ2025(Nたま) 講座(8/2,30,9/7,13～15,10/4,18,11/1,22,12/7,14,1/18,31)、修了式(2/7)
- ・「Nたまサポーター2025」募集(キャンペーン期間:2025年11月～2026年1月)
- ・国際協力カレッジ2025(12/13)
- ・インターン説明会(2/12)

### ●運営

- ・理事会(9/9,11/4,2/17)
- ・事務局会議(8/6,10/14,11/11,12/9,1/13,2/10)

●賛助会員

加茂省三、山口大輔、加藤克也、篠田英次、中島正人、稲葉健吾、佐藤遼、矢内淳、林滋、鷺見三恵子、小久保紀子、藤井朋子、笠原聡太郎、横井春香、佐藤玲子、梅村紀彦、守屋保美、鈴木英司、蟹江舟美、丹羽輝明、岩田崇、原田篤実、松尾朋之、堀田妙子、水野洋計、清水淳、高野菜、石井りか、山崎真由美、貝谷京子、外村(白井)悠、佐藤都喜子、堀川絵美、川合千代子、加賀美薫、加藤宏明、二角智美、河野侑里、神田すみれ、吉田英一、谷川毅、森元裕惠、細井和世、小森夏未、山田淳一、天野浩己、堀江耕太郎、長屋加奈子、大地優花、今井雅子、後藤純、森田千穂子、株式会社シーテック

●寄付者

【一般寄付】丹羽輝明、NGO研修参加者、福田美津枝、真如苑、1/17JICA研修懇親会参加者、名古屋市立円上中学校

【東海ろうきんNPO寄付システム】伊藤武士、宇野菊夫、大野博人、後藤文昭、酒井俊輝、水野愛、山田志帆、松下和哉、中島正人

【Nたまサポーター】原田篤実、加藤里紗、塩田真也、大須賀恵子、春田みな美、松浦史典、栗田佳典、佐藤光、河野侑里、安村妙、横井春香、武藤由師、松浦良子、林滋、小久保紀子、ンジャイざおり、竹内由美子、石井りか、渡邊正子、曾我部行子、熊谷雄一、青木研輔、堀川絵美、12/13忘年会参加者、増田いづみ、安達三千代、中垣貴裕、大川真依、林かぐみ、尾崎寿光、市川隆之、高橋美穂、川島知司、中島隆宏、神田すみれ、筒井広治、天野浩己、株式会社ウィーケン、石黒好美、中島正人、木村仁志、桃井義博、四国グローバル・ネットワーク、伊藤幸慶、田中幸男、戸村京子、野田恭平、松本恭一、八木巖、北奥順子、岩田崇、尾崎寿光、谷川毅、齋藤尚文、

坂部武志、近藤公彦、中尾さゆり、藤井朋子、齊藤順子、桃井義博、遠山涼子、山本梨恵、裏見登志子、龍田成人、鉄井宣人、加藤里紗、高木雅成、二角智美、吉岡嗣晃、吉川典子、笠原聡太郎、河合良太、天野友貴、北村祐人、株根秀之、磯村さやか、小池康弘、和田さとみ、佐藤元紀、貝谷京子、小森夏未、高野菜、大川元嗣、瀬川義人、丹羽俊策、森元裕惠、水谷洋子、渡辺祐樹、吉田拓生、高橋美和子、黒田朱里、熊澤友紀子、関口威人、神谷周作、池住義憲、工藤泰三、落合佑哉、田中典子、藤本潔、窪川佐紀、和田信明、岸本正好、村田元夫、寺田裕美、鈴木二葉、松中みどり、和喜田恵介、青山岳史、浅野愛美、川島知司、福嶋聡子、櫻井裕子、中島正博、大屋正人、前倉英人

【外貨】岡田淳子、大矢健治、匿名

【アフィリエイト】アマゾン・ヤフー133円、楽天164ポイント

●協力者

【10/22発送作業ボランティア】にしびん、いっちゃん、よくさん、マッキー

2026年度の定時総会を開催します。

オブザーバー参加を希望される方は事前に事務局までお問合せ下さい。

●日時:2026年5月23日(土)10時～12時

●会場:名古屋NGOセンターシェアスペース及びオンラインZOOM

長年に渡って活動してきたニカラグアの会(41年)とオヴァ・ママの会(33年)が、2026年3月をもって名古屋NGOセンターの加盟団体を退会されました。これまでの活動に敬意を表し、心より感謝申し上げます。

事務局のひとこと

国内外の出来事を通して、「平和」とは何かを考える機会が増えています。平和は努力して築かれていくもの。身近な人や地域の中で対話を重ねることの価値を改めて感じています。小さな対話を大切にしていきたいです。(岩野)

編集後記

ニカラグアの会とオヴァママの会からは多くの経験や学びをいただき、センターとのかかわりの中で、Nたまやスタディツアーなど、多くの人たちがつながり、思いに触れています。かたちを変えながら思いをつなげていく場。そのような役割もネットワークにはあると感じます。(市川)

今号からの新参者ですが、既に国際協力に関わる皆さんから多くの刺激を受けています。早速2月に、インドネシアでWAFCAのスタディプログラムに参加しました。国籍や障がいの有無による隔たりがない、現地の方のあたたかさや、支援活動の大変さとその意義を目の当たりにし、生涯忘れられない経験となりました。(伊藤)

SPORT FOR PEACE

スポーツの力が未来を照らす



6/28 まで開催中  
10:00-18:00 入場無料

写真提供:久野真一/JICA



アクセス | 名古屋駅から徒歩13分  
休館日 | 月曜・年末年始  
(祝日の場合は開館、翌平日が休館)



パレスチナ産 マジョール・デーツ

黒糖のように濃厚で甘くミネラル豊富で絶品です!

5月はイベントにお出かけください!

★2(土)は、世界フェアトレード・デー・なごや

@ヒサヤオオドリパーク

★4(月)5(火)は、本のイベント@風"s おとなり

★5(火)は、パレスチナ展@栄オアシス

詳細はSNSにて



顔の見える店~FAIR TRADE 風"s (ふ〜ず)

〒462-0844 名古屋市北区清水5丁目10-8  
グリーンフェロービル 3C (EV有)  
営業日/月・木・金・土 12時～16時  
Tel/070-9120-8820  
Mail/huzu.fairtrade2@gmail.com



発行: 特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター  
会報編集委員: 市川隆之、中島正人、廣井修平、貝谷京子、桜井裕子、丹羽輝明、内藤壽久、伊藤玲奈、村山佳江

レイアウト: 桜井裕子、大川真依

発行日: 2026年4月21日

印刷: 山本印刷株式会社

特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2丁目3番地 YWCAビル7F  
TEL & FAX: 052-228-8109 URL: <https://www.nangoc.org>  
E-Mail (代表): [info@nangoc.org](mailto:info@nangoc.org)

会費・寄付は以下よりお願いいたします。

①クレジットカード <https://nangoc.org/support/>

②郵便振替 (口座番号) 00860-5-90855 (口座名) 特定非営利活動法人名古屋NGOセンター